

# 要配慮者利用施設における 土砂災害に関する避難訓練 〈実践の手引き〉



令和元年 9月

(令和3年6月更新)

群馬県県土整備部砂防課

# 目次

1. はじめに	1
2. 本書の使用方法	2
3. 土砂災害に関する避難訓練の考え方	4
4. 避難訓練 実践メニュー(フェーズ(段階)に応じた訓練の提案)	6
「フェーズ(段階)」及び「パターン(手法)」の概要 6～7	
①情報収集・伝達、防災体制確認訓練	8～9
パターンA：シナリオ固定型	8
パターンB：情報付与型	9
②避難誘導訓練	10～11
パターンC：実践型	10
パターンD：災害図上訓練(DIG)型	11
5. 避難訓練 計画・準備・実施・検証	12
①情報収集・伝達、防災体制確認訓練	12～15
パターンA：シナリオ固定型	12
パターンB：情報付与型	14
②避難誘導訓練	16～19
パターンC：実践型	16
パターンD：災害図上訓練(DIG)型	18
6. 避難訓練 報告	20
訓練報告書	20
訓練実施報告	21

# 1. はじめに

平成29年6月に土砂災害防止法が改正され、要配慮者利用施設に対して、「避難確保計画の作成」および「避難訓練の実施」が義務付けられました。  
※市町村地域防災計画に記載の要配慮者利用施設が対象

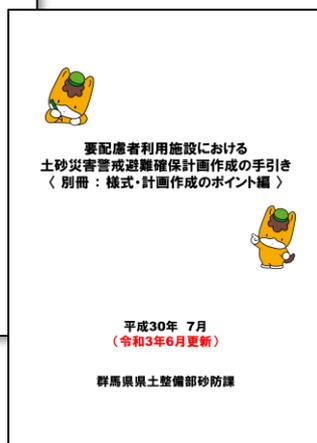
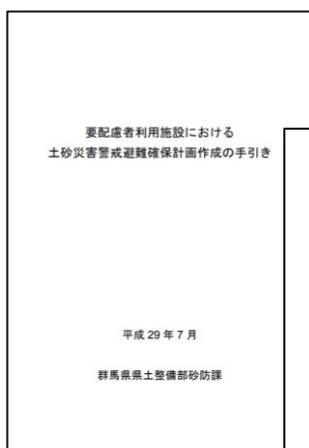
要配慮者利用施設の管理者様、計画作成ご担当者様におかれましては、「避難確保計画」の作成を進めていただいていることと思いますが、計画作成後には、“毎年1回”の「避難訓練」の実施も義務となっています。

しかし、避難訓練と言っても、特に「土砂災害」の避難訓練については、なかなかイメージがわかず、「どんなことに取り組みばよいのかわからない」という施設も多いのではないかと推察いたします。

そこで本書では、避難確保計画の記載要件に合わせた土砂災害に特化した訓練メニューを整理いたしました。  
是非、本書をご活用の上、各施設の実情に合わせた「避難訓練」を実施していただきますようお願いいたします。

本書は、国土交通省や群馬県が公表している“避難確保計画作成の手引き”の内容を踏まえて構成しております。

「避難確保計画」を作成の上、避難訓練に臨んでください。  
未作成の施設は下記を参考に、まずは計画の作成をお願いいたします。



(URL) [https://www.pref.gunma.jp/06/h46g\\_00001.html](https://www.pref.gunma.jp/06/h46g_00001.html)

※URLは告知なく変更になる可能性があります

群馬県 避難確保計画

検索



## 2. 本書の使用手法

### ステップ 1

### 訓練の考え方の確認



本書該当ページ：4～5ページ

- 避難確保計画の記載事項を確認し、  
“**避難確保計画に基づいて実施される避難訓練**”  
であることのイメージをもちましょう
- **土砂災害の避難訓練についての考え方**を確認しましょう



### ステップ 2

### 訓練メニューの確認



本書該当ページ：6～11ページ

- 土砂災害の避難訓練について、  
**フェーズ（段階）に応じた2つの訓練メニューを確認し、**  
**それぞれの訓練パターン（手法）を確認**しましょう
- 施設にとって必要と思われる  
訓練メニューを検討しましょう



3ページのステップ3へ

## ステップ 3

## 訓練計画の検討・準備



本書該当ページ : 12 ~ 19 ページ / 訓練様式 : 1

- 本書の様式等も参考に、**訓練の検討・準備**をしましょう
- 様式等は、「**訓練様式・情報付与カード**」にまとめています  
必要なものを選択し、ご活用ください

※ 直接書き込んでいただくか、Webでダウンロードできるように  
様式のデータ (PDF、Microsoft Word) をまとめましたので、  
施設が作成しやすい方法を選択してください



## ステップ 4

## 訓練の実施・結果確認



本書該当ページ : 12 ~ 19 ページ / 訓練様式 : 2

- ステップ3で検討した  
訓練計画に基づき、**避難訓練を実施**しましょう
- 訓練後には、計画の見直しのために  
**本書チェックリストを参考に、検証**をおこないましょう



## ステップ 5

## 訓練の報告



本書該当ページ : 20 ~ 21 ページ / 訓練様式 : 3

- 訓練の実施結果を**市町村に報告**しましょう  
※本書様式や市町村指定の様式を使用



(継続的に実施) 教育・訓練等による計画の見直し・更新

「避難確保計画」では、下記(ア)～(オ)について記載することとされており、「避難訓練」は、これに基づき行われることが求められております。  
※記載漏れがある場合には、避難確保計画の見直しをお願いします。

下記の計画のうち、「避難訓練」については、特に **(ア) 防災体制、情報の収集・伝達、(イ) 避難誘導** の確認をおこなうことで、実効性のある「避難確保計画」への見直しにも繋がります。  
(エ) 教育・訓練のとおり、定期的に「避難訓練」を実施しましょう。

#### 「避難確保計画作成の手引き 別冊」2ページより抜粋

##### (ア) 防災体制、情報の収集・伝達

- “**避難や待避**” や “**休所・休校**” の判断基準
- “**役割分担**” (①誰が、②何をするのか)
- “**情報の収集・伝達方法**”  
(①誰が、②どうやって、③何を収集伝達するのか)



##### (イ) 避難誘導

- “**避難場所や避難経路**” (施設の避難タイプに応じて施設内外)
- “**避難(待避)の移動手段**” や “**そのための人員**”



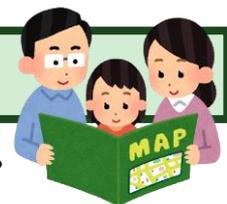
##### (ウ) 施設整備

- “**備蓄品や災害時必要品**”



##### (エ) 教育・訓練

- “**教育・訓練の実施スケジュール**” や “**その内容**”



##### (オ) そのほか利用者の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な措置

## 「土砂災害」の避難訓練と訓練時の留意点

土砂災害の避難訓練は、「避難誘導」だけでなく、「情報収集・伝達」や「避難に備えた体制の確認」も重要です。要配慮者にも十分配慮した訓練を計画・実践しましょう。

### (1) “地震・火災”の避難訓練との違い

これまで施設で実施してきた“地震・火災”の避難訓練は、災害発生後の「避難誘導」がメインですが、“土砂災害”の避難訓練は災害発生前の行動（情報収集・伝達や防災体制の確保等）が非常に重要となります。



### (2) 最も重要なのは、「情報収集・伝達」や「防災体制」の確認

「情報収集・伝達」の訓練はこれまでほとんど経験がないものと推察します。避難確保計画で定めた収集・伝達方法を確認し、避難に備えた体制への移行や避難（待避）の判断をおこなう訓練を、本書に基づいて実施してみましょう。



### (3) 要配慮者利用施設の「避難誘導」の訓練に関する留意点

要配慮者のなかには寝たきりや、足腰が弱い方も多くいると思います。避難訓練で怪我等をされてはいけませんので、本書の手法も参考にしながら、可能な範囲で要配慮者にも配慮した訓練を実施しましょう。



## 4. 実践メニュー（フェーズ(段階)に応じた訓練の提案)

ステップ 2

### (1) 訓練フェーズ（段階）

本書で提示する避難訓練のメニューは、「避難判断」の前後の動きに着目して、フェーズ（段階）を分けています。まずは、避難判断に至るまでの『①情報収集・伝達、防災体制確認』。そして、避難判断後の『②避難誘導』の2フェーズです。

フェーズ

①情報収集・伝達、  
防災体制確認

避難  
判断



### (2) 訓練パターン（手法）

上記の2フェーズ（段階）ごとに、避難訓練の手法を2パターン用意しました。施設の状況に応じて、まずは無理のない範囲で訓練を実施することを始めてみてください。訓練のマンネリ化の解消や発展的な訓練となるよう、異なるパターンの訓練にもチャレンジしてみましょう。

#### ①情報収集・伝達、防災体制確認

パターン

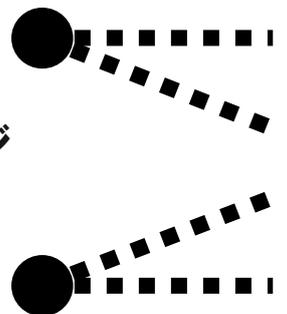
A：シナリオ固定型

※詳細は8ページ

パターン

B：情報付与型

※詳細は9ページ





各フェーズの手法を組み合わせ、訓練を実践してください。

( A → C 、 A → D 、 B → C 、 B → D )

② 避難誘導



※詳細は10ページ



※詳細は11ページ

### ① 情報収集・伝達、防災体制確認訓練 〈A:シナリオ固定型〉



#### (1) 訓練フェーズ

##### ① 情報収集・伝達、防災体制確認

##### ② 避難誘導

(概要) 避難確保計画に定めてある情報（気象情報や避難情報）を収集し、関係者と伝達・共有をしながら、防災体制を整えていく訓練（雨が降り始めてから、避難(待避)基準が確認されるまでの訓練）

#### (2) 訓練パターン

##### A：シナリオ固定型

##### B：情報付与型

(概要) 気象情報や避難情報の発表・発令タイミングをあらかじめ時系列で時間ごとに整理しておき、そのタイミングに合わせて情報が発表・発令されたと仮定して、情報伝達や防災体制の確認をおこなう手法（情報については、実際にPC画面等も確認）

(利点) あらかじめ決められたシナリオに基づくため、大きな混乱もなく、避難確保計画に定められた事項の確認が可能となる

**この訓練を実施する場合、12～13ページを参考に準備を進めてください**

### ① 情報収集・伝達、防災体制確認訓練 〈B: 情報付与型〉



#### (1) 訓練フェーズ

##### ① 情報収集・伝達、防災体制確認

##### ② 避難誘導

(概要) 避難確保計画に定めてある情報（気象情報や避難情報）を収集し、関係者と伝達・共有をしながら、防災体制を整えていく訓練（雨が降り始めてから、避難(待避)基準が確認されるまでの訓練）

#### (2) 訓練パターン

##### A：シナリオ固定型

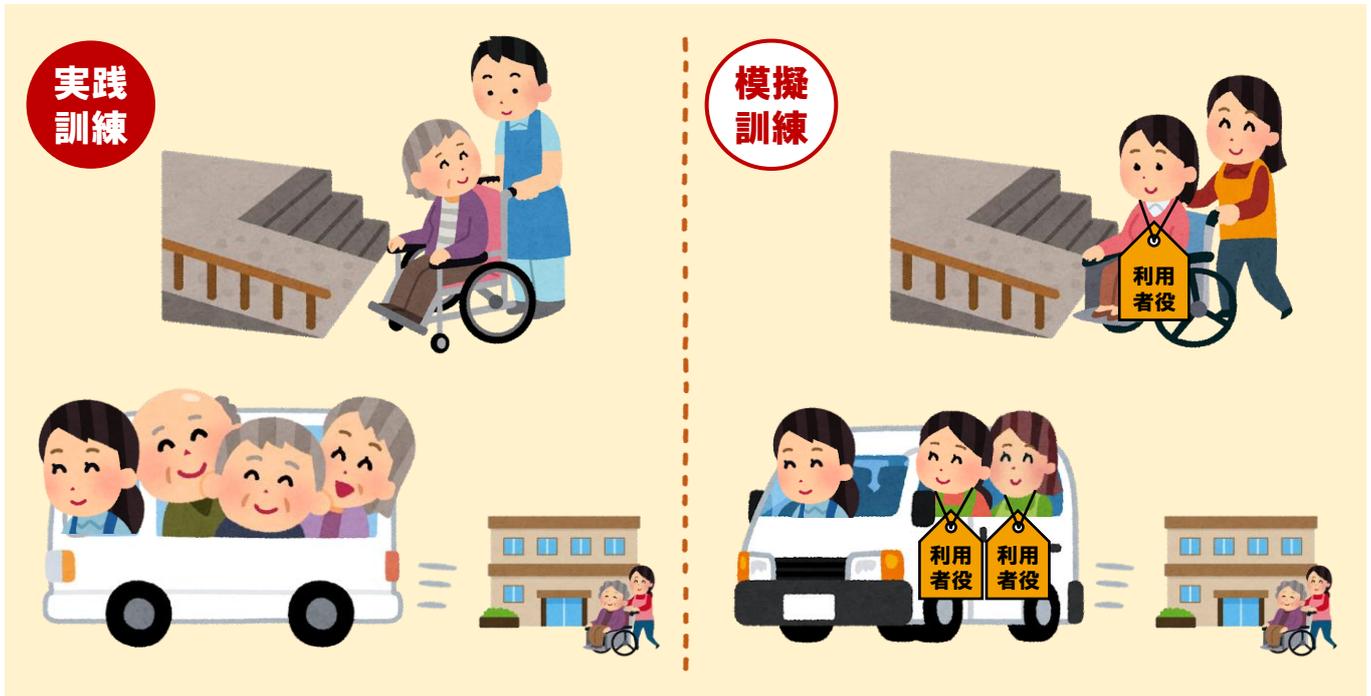
##### B：情報付与型

(概要) **気象情報や避難情報の発表・発令タイミングを情報付与カードで整理（本書の様式編を参考）しておき、情報付与担当者がカードに基づき情報を付与**しながら、情報伝達や防災体制の確認をおこなう手法（情報については、実際にPC画面等も確認）

(利点) 毎回、訓練内容が異なる（引くカードが異なる）ため、実際の状況に近い形での訓練が可能となる

**この訓練を実施する場合、14～15ページを参考に準備を進めてください**

### － ②避難誘導訓練 〈C:実践型〉 －



#### (1) 訓練フェーズ

①情報収集・伝達、防災体制確認

②避難誘導

(概要) 避難(待避)基準に基づいた判断を受け、避難確保計画に定められた避難(待避)場所への要配慮者の避難誘導をおこなう訓練  
(避難(待避)基準が確認されてから、避難が完了するまでの訓練)

#### (2) 訓練パターン

**C: 実践型**

D: 災害図上訓練(DIG)型

(概要) 避難(待避)の判断を受け、**実際に要配慮者と避難(待避)先まで避難**をおこなう手法。すべての要配慮者の避難誘導をおこなうことが理想であるが、一、二例程度を確認し、所要時間を換算する方法もあるため、状況に応じて検討(職員による模擬訓練も可)

(利点) 実際に要配慮者と避難をおこなうため、現実に近い所要時間が確認できることや、避難誘導のスキルアップが可能となる

**この訓練を実施する場合、16～17ページを参考に準備を進めてください**

## － ②避難誘導訓練 〈D:災害図上訓練(DIG)型〉 －



## (1) 訓練フェーズ

①情報収集・伝達、防災体制確認

②避難誘導

(概要) 避難(待避)基準に基づいた判断を受け、避難確保計画に定められた避難(待避)場所への要配慮者の避難誘導をおこなう訓練  
(避難(待避)基準が確認されてから、避難が完了するまでの訓練)

## (2) 訓練パターン

C：実践型

D：災害図上訓練(DIG)型

(概要) 避難(待避)の判断を受け、**施設周辺や施設内の地図を使用して、避難誘導を確認**する手法。模擬的に、職員等を要配慮者に見立て、避難誘導の方法を確認することもあわせて行くと、実際の状況に近い訓練が可能となる

(利点) 移動が困難な要配慮者が多くいる場合などに、移動に伴う危険を回避した避難誘導訓練が可能となる

**この訓練を実施する場合、18～19ページを参考に準備を進めてください**

## ① 情報収集・伝達、防災体制確認訓練 〈A:シナリオ固定型〉

### (1) 訓練計画の立案

- **訓練実施日時、訓練場所、参加者**を検討し、該当箇所を記入します
- 群馬県手引き別冊の「様式2-1」及び「様式2-2」に基づき、**各体制の参集基準や出動体制、避難(待避)基準**を記入します

▼群馬県手引き別冊「様式2-1」

■参集基準及び体制、避難(待避)基準【主担当: _____】			
(様式2-1)			
年 月 日 作成			
<p>□ 留意1 天候急変などにより、避難(待避)対応が必要となる</p> <p>□ 留意2 気象観測などにより知らぬ間に状況が変化し、避難(待避)対応が必要となる</p> <p>□ 留意3 気象観測などにより知らぬ間に状況が変化し、避難(待避)対応が必要となる</p>	<p>□ 留意4 気象観測などにより知らぬ間に状況が変化し、避難(待避)対応が必要となる</p> <p>□ 留意5 気象観測などにより知らぬ間に状況が変化し、避難(待避)対応が必要となる</p> <p>□ 留意6 気象観測などにより知らぬ間に状況が変化し、避難(待避)対応が必要となる</p>	<p>□ 留意7 気象観測などにより知らぬ間に状況が変化し、避難(待避)対応が必要となる</p> <p>□ 留意8 気象観測などにより知らぬ間に状況が変化し、避難(待避)対応が必要となる</p> <p>□ 留意9 気象観測などにより知らぬ間に状況が変化し、避難(待避)対応が必要となる</p>	<p>□ 留意10 気象観測などにより知らぬ間に状況が変化し、避難(待避)対応が必要となる</p> <p>□ 留意11 気象観測などにより知らぬ間に状況が変化し、避難(待避)対応が必要となる</p> <p>□ 留意12 気象観測などにより知らぬ間に状況が変化し、避難(待避)対応が必要となる</p>
<p>□ 第一二次体制 空襲警報が発令された場合 □ 情報収集・連絡班 □ 避難誘導班 □ 物資班 □ その他( )</p>	<p>□ 第一二次体制 大雨注意報が発令された場合 □ 情報収集・連絡班 □ 避難誘導班 □ 物資班 □ その他( )</p>	<p>□ 第一二次体制 大雨注意報が発令された場合 □ 情報収集・連絡班 □ 避難誘導班 □ 物資班 □ その他( )</p>	<p>□ 第一二次体制 大雨注意報が発令された場合 □ 情報収集・連絡班 □ 避難誘導班 □ 物資班 □ その他( )</p>
<p>□ 第三三次体制 土砂災害警戒レベル3が発令された場合 □ 情報収集・連絡班 □ 避難誘導班 □ 物資班 □ その他( )</p>			
<p>□ 避難(待避)基準 高齢者等避難(警戒レベル3)が発令された場合 □ 避難(待避)基準 土砂災害警戒レベル3が発令された場合 □ 避難(待避)基準 土砂災害警戒レベル3が発令された場合 □ 避難(待避)基準 土砂災害警戒レベル3が発令された場合</p>			

※国土交通省等の手引き等を参考に避難確保計画を作成している施設は下記を参考に検討してみてください

- 第一次体制に類似「注意体制確立」や「参集準備」等
- 第二次体制に類似「警戒体制確立」や「応急当番職員参集」等
- 第三次体制に類似「非常体制確立」や「全職員参集」等

- 訓練シナリオの間隔は、**おおむね15分～30分で設定**してください

### (2) 訓練の準備

- 様式のチェックリストを参考に、訓練当日に必要な備品等を確認し、念のため前日などに、不備がないか確認しておきましょう

## 訓練様式 1-A

① 情報収集・伝達、防災体制確認訓練〈A:シナリオ固定型〉 (訓練様式1-A)

訓練計画書

訓練実施日時	年 月 日 時 分 ~ 時 分
訓練場所	□施設全体 □施設の一部 ( ) □そのほか ( )
参加者(人数)	□施設職員 ( 名) □施設利用者 ( 名) □そのほか ( )

時 分 参集基準確認

第一二次体制(情報収集)の参集基準・出動体制の確認  
 参集基準 \_\_\_\_\_  
 出動体制 □総括責任者 □情報収集・連絡班 □避難誘導班 □物資班 □その他( )

時 分 参集基準確認

第二次体制(避難準備)の参集基準・出動体制の確認  
 参集基準 \_\_\_\_\_  
 出動体制 □総括責任者 □情報収集・連絡班 □避難誘導班 □物資班 □その他( )

時 分 参集基準確認

第三次体制(避難体制確保)の参集基準・出動体制の確認  
 参集基準 \_\_\_\_\_  
 出動体制 □総括責任者 □情報収集・連絡班 □避難誘導班 □物資班 □その他( )

時 分 避難(待避)基準の確認

避難(待避)基準の確認  
 □高齢者等避難(警戒レベル3)が発令  
 □土砂災害警戒情報が発令  
 □累積雨量が ( ) mm を超過  
 □時間雨量が ( ) mm を超過  
 □予兆現象を確認  
 □その他( )

避難(待避)基準の確認  
 □そのほか( )

確認し、避難(待避)を判断  
 避難(待避)判断 \_\_\_\_\_

### (2) 準備

訓練で使用する備品等は下記のとおりとし、訓練前日などに確認をおこなう

訓練関係資料	<input type="checkbox"/> 避難確保計画 <input type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域などの拡大印刷物 <input type="checkbox"/> 訓練計画書(本資料) <input type="checkbox"/> 訓練結果チェックリスト <input type="checkbox"/> その他( )
情報収集時 必要備品	※Web サイトやデジタル放送画面等での収集方法を確保 <input type="checkbox"/> パソコン(携帯電話) <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> ホワイトボード、黒板 <input type="checkbox"/> 模造紙 <input type="checkbox"/> ペン <input type="checkbox"/> その他( )
情報伝達時 必要備品	※いざというときの連絡先や連絡方法を確保 (実際に連絡してもよい) <input type="checkbox"/> 固定電話 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 内線機器 <input type="checkbox"/> 拡声器 <input type="checkbox"/> 施設職員連絡網 <input type="checkbox"/> 関係機関連絡先一覧 <input type="checkbox"/> 施設利用者情報(家族の連絡先等) <input type="checkbox"/> その他( )
防災体制の 確認時必要備品	※第二次・第三次体制時の役割等の確認で、 施設の計画に応じて下記を準備 <input type="checkbox"/> 避難確保計画に記載されている携行品や備品 <input type="checkbox"/> 避難誘導車両 <input type="checkbox"/> 車椅子 <input type="checkbox"/> ストレッチャー <input type="checkbox"/> その他( )
その他	_____

### (3) 訓練の実施

- 左ページで検討した訓練計画書に基づいて、訓練を実施します  
下記の流れをイメージして取り組んでみてください

※計画した時間で情報が切り替わる



### (4) 訓練結果の確認

- 訓練が終わりましたら、様式のチェックリストに基づき、訓練結果の確認をします

- ・ 各検証事項について、**「問題なし」または「課題あり」を判断し記入**しましょう
- ・ **訓練時に感じたことを、「(所感)欄」に記入**しましょう

- 「課題あり」と判断される項目は、**計画の見直しや訓練での再確認**が求められます  
施設で**今後の方針を確認・検討し、記入**しておきましょう

訓練結果が確認できたら、**ステップ 5**  
訓練報告書を作成しましょう( →20ページ)

#### 訓練様式

2-A

①情報収集・伝達、防災体制確認訓練 (A: シナリオ固定型) (訓練様式 2-A)

訓練検証チェックリスト

訓練実施日時	年 月 日 時 分 ~ 時 分
① 参集基準や避難(待避)基準として定められている情報について、PCやTV等で確認することはできましたか。(所感)	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 課題あり
② 職員等への情報共有について、計画に基づく手段を用いて円滑に実施することはできましたか。(所感)	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 課題あり
③ 体制の移行や避難(待避)判断について、情報を受けて適切なタイミングで正確におこなうことができましたか。(所感)	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 課題あり
④ 職員等の参集状況について、体制表の出動体制に基づいて遅滞なく参集することができましたか。(所感)	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 課題あり
⑤ 各担当の役割について、体制表の業務内容に基づいて担当業務の内容を確認することができましたか。(所感)	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 課題あり
(そのほか)	

### ①情報収集・伝達、防災体制確認訓練 〈B:情報付与型〉

#### (1) 訓練計画の立案

- **訓練実施日時、訓練場所、参加者**を検討し、該当箇所を記入します
- 訓練シナリオの間隔は、**おおむね15分～30分で設定**してください
- 群馬県手引き別冊の「様式2-1」及び「様式2-2」に基づき、**“情報付与カード”の記入欄**を埋めておきます

付与する情報が参集基準に満たないものばかりでは訓練が進まないため、避難確保計画の防災体制も考慮した付与カードをあらかじめ準備して訓練に臨みます

#### ▼情報付与カード（例）

**タイミング1**

テレビでは、今後、関東地方を中心に「大雨が降る可能性がある」ことを報道しています



※ 5分後くらいに、第一次体制の参集基準が発表・確認

近隣市町村で大雨注意報が発表  
 そのほか ( )

情報付与カードの記入欄に「様式2-1」及び「様式2-2」に基づいて、**参集基準を記入**しましょう

#### 訓練様式 1-B

(訓練様式 1-B)

①情報収集・伝達、防災体制確認訓練〈B:情報付与型〉

訓練計画書

訓練実施日時	年 月 日 時 分 ~ 時 分
訓練場所	<input type="checkbox"/> 施設全体 <input type="checkbox"/> 施設の一部 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )
参加者(人数)	<input type="checkbox"/> 施設職員 ( 名) <input type="checkbox"/> 施設利用者 ( 名) <input type="checkbox"/> その他 ( )

(1) 訓練シナリオ (※情報付与カードによってシナリオは異なる)

情報付与担当者	
時 分	【情報付与カード】 「タイミング1」のグループから1枚を選択
参集基準確認	↓ PC等で情報を確認し、情報伝達や参集をおこない、各役割等を確認
時 分	【情報付与カード】 「タイミング2」のグループから1枚を選択
参集基準確認	↓ PC等で情報を確認し、情報伝達や参集をおこない、各役割等を確認
時 分	【情報付与カード】 「タイミング3」のグループから1枚を選択
参集基準確認	↓ PC等で情報を確認し、情報伝達や参集をおこない、各役割等を確認
時 分	【情報付与カード】 「タイミング4」のグループから1枚を選択
避難(待避)基準の確認	↓ PC等で情報を確認し、避難(待避)を判断
	避難(待避)判断

1

(2) 準備

訓練で使用する備品等は下記のとおりとし、訓練前日などに確認をおこなう

訓練関係資料	<input type="checkbox"/> 避難確保計画 <input type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域などの拡大印刷物 <input type="checkbox"/> 訓練計画書(本資料) <input type="checkbox"/> 訓練結果チェックリスト <input type="checkbox"/> 情報付与カード(「タイミング1」～「タイミング4」) <input type="checkbox"/> その他 ( )
情報収集時 必要備品	※Web サイトやデジタル放送画面等での収集方法を確認 <input type="checkbox"/> パソコン(携帯電話) <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> ホワイトボード、黒板 <input type="checkbox"/> 構造紙 <input type="checkbox"/> ペン <input type="checkbox"/> その他 ( )
情報伝達時 必要備品	※いざというときの連絡先や連絡方法を確認(実際に連絡してもよい) <input type="checkbox"/> 固定電話 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 内線機器 <input type="checkbox"/> 拡声器 <input type="checkbox"/> 施設職員連絡網 <input type="checkbox"/> 関係機関連絡先一覧 <input type="checkbox"/> 施設利用者情報(家族の連絡先等) <input type="checkbox"/> その他 ( )
防災体制の 確認時必要備品	※第二次・第三次体制時の役割等の確認で、施設の計画に応じて下記を準備 <input type="checkbox"/> 避難確保計画に記載している携行品や備品 <input type="checkbox"/> 避難誘導車両 <input type="checkbox"/> 車椅子 <input type="checkbox"/> ストレッチャー <input type="checkbox"/> その他 ( )
その他	

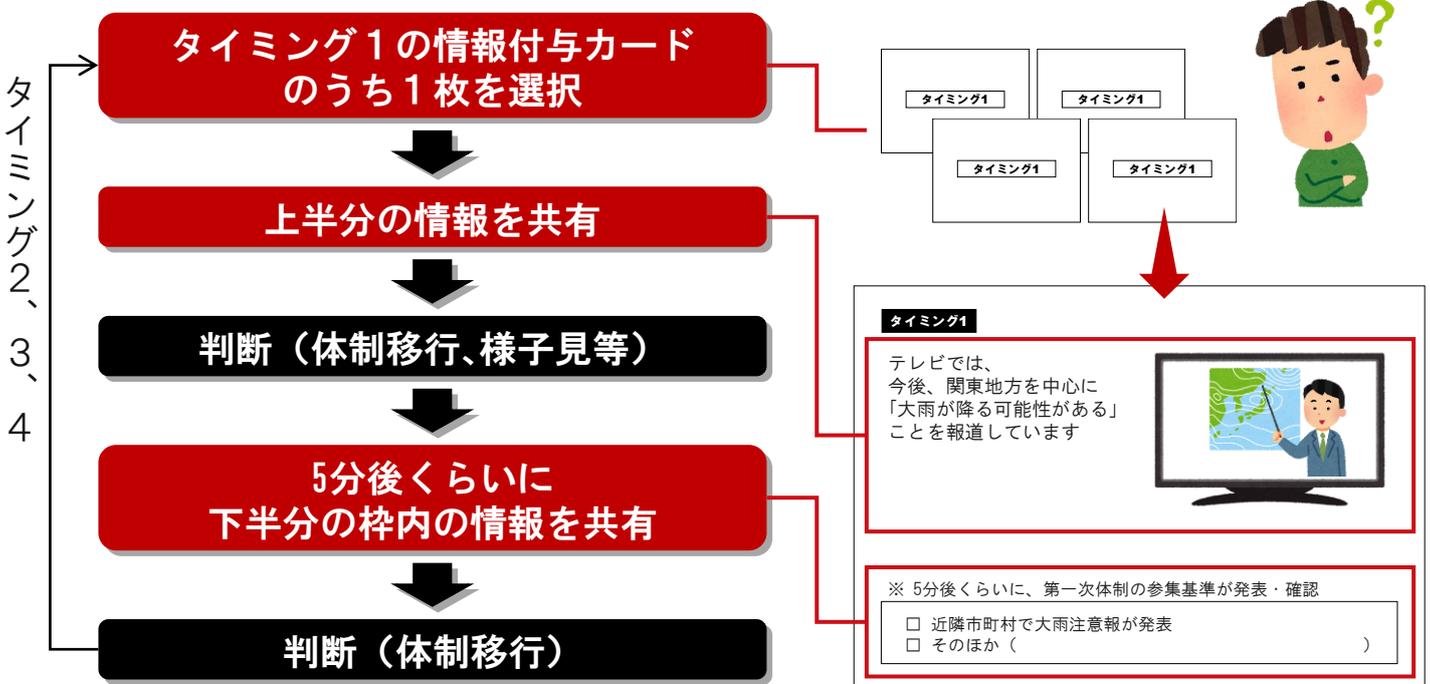
2

#### (2) 訓練の準備

- 様式のチェックリストを参考に、訓練当日に必要な備品等を確認し、念のため前日などに、不備がないか確認しておきましょう

### (3) 訓練の実施

- 左ページで検討した訓練計画書に基づいて、訓練を実施します  
下記の流れをイメージして取り組んでみてください  
(※情報付与カードによる情報付与以外は、13ページと同様の流れ)



### (4) 訓練結果の確認

- 訓練が終わりましたら、様式のチェックリストに基づき、訓練結果の確認をします

- ・ 各検証事項について、「問題なし」または「課題あり」を判断し記入しましょう
- ・ 訓練時に感じたことを、「(所感)欄」に記入しましょう

- 「課題あり」と判断される項目は、計画の見直しや訓練での再確認が求められます  
施設で今後の方針を確認・検討し、記入しておきましょう

訓練結果が確認できたら、**ステップ 5**  
訓練報告書を作成しましょう( →20ページ)

#### 訓練様式

2-B

①情報収集・伝達、防災体制確認訓練 (B: 情報付与型) (訓練様式 2-B)

訓練検証チェックリスト

訓練実施日時	年 月 日 時 分 ~ 時 分
① 参集基準や避難(待避)基準として定められている情報について、PCやTV等で確認することはできましたか。(所感)	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 課題あり
② 職員等への情報共有について、計画に基づく手段を用いて円滑に実施することはできましたか。(所感)	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 課題あり
③ 体制の移行や避難(待避)判断について、情報を受けて適切なタイミングで正確におこなうことができましたか。(所感)	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 課題あり
④ 職員等の参集状況について、体制表の出動体制に基づいて遅滞なく参集することができましたか。(所感)	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 課題あり
⑤ 各担当の役割について、体制表の業務内容に基づいて担当業務の内容を確認することができましたか。(所感)	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 課題あり
(そのほか)	

## ②避難誘導訓練 〈C:実践型〉

### (1) 訓練計画の立案

- **訓練実施日時、訓練場所、参加者**を検討し、該当箇所を記入します
- 避難判断前の準備や避難判断については、訓練フェーズ①「情報収集・伝達、防災体制確認訓練」で実施される内容ですので、概ねの時間を記載しておきます
- 施設外避難の場合には、忘れずに**避難先施設に連絡**しておきましょう
- 施設外避難（水平避難）か、施設内待避（垂直避難）かを検討しておき、**避難場所及び避難経路を整理**しておきます

### 訓練様式 1-C

(訓練様式 1-C)

**②避難誘導訓練〈C:実践型〉**

**訓練計画書**

訓練実施日時	年 月 日 時 分 ~ 時 分
訓練場所	<input type="checkbox"/> 施設全体 <input type="checkbox"/> 施設の一部 ( ) <input type="checkbox"/> 施設外避難場所 ( ) <input type="checkbox"/> そのほか ( )
参加者(人数)	<input type="checkbox"/> 施設職員 ( 名) <input type="checkbox"/> 施設利用者 ( 名) <input type="checkbox"/> そのほか ( )

(1) 訓練のまじり

時 分	非難誘導担当の配備や多動手段(車両や車椅子等)の準備、避難先への連絡等
↓ 避難誘導の体制を整える	
時 分	避難(待避)判断 ※判断の際には基準を確認
↓ 避難の開始	
	避難完了

(2) 準備  
訓練で使用する備品等は下記のとおりとし、訓練前日に確認をおこなう

訓練関係資料	<input type="checkbox"/> 避難確保計画 <input type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域などの拡大印刷物 <input type="checkbox"/> 訓練計画書(本資料) <input type="checkbox"/> 訓練結果チェックリスト <input type="checkbox"/> そのほか ( )
避難誘導時必要備品	<b>※実際に避難場所までの避難方法を確認</b> <input type="checkbox"/> 固定電話 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 内線機器 <input type="checkbox"/> 拡声器 <input type="checkbox"/> 関係機関連絡先一覧 <input type="checkbox"/> 避難誘導車両 <input type="checkbox"/> 車椅子 <input type="checkbox"/> ストレッチャー <input type="checkbox"/> 避難確保計画に記載している携行品や備蓄品 <input type="checkbox"/> そのほか ( )
その他	

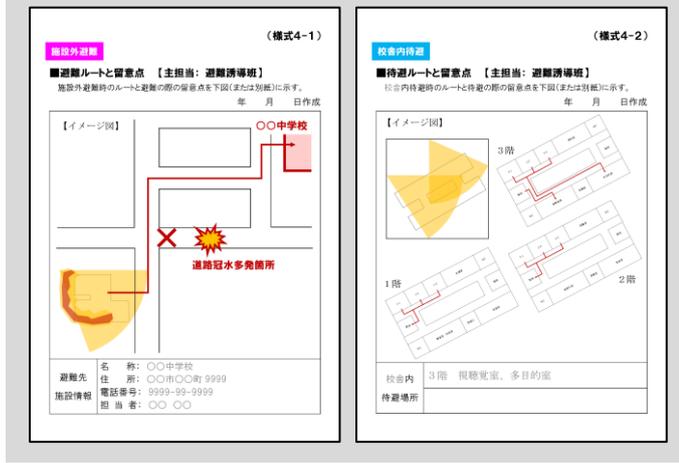
1

---

※避難場所及び避難経路

2

#### ▼群馬県手引き別冊「様式4-1」、「様式4-2」

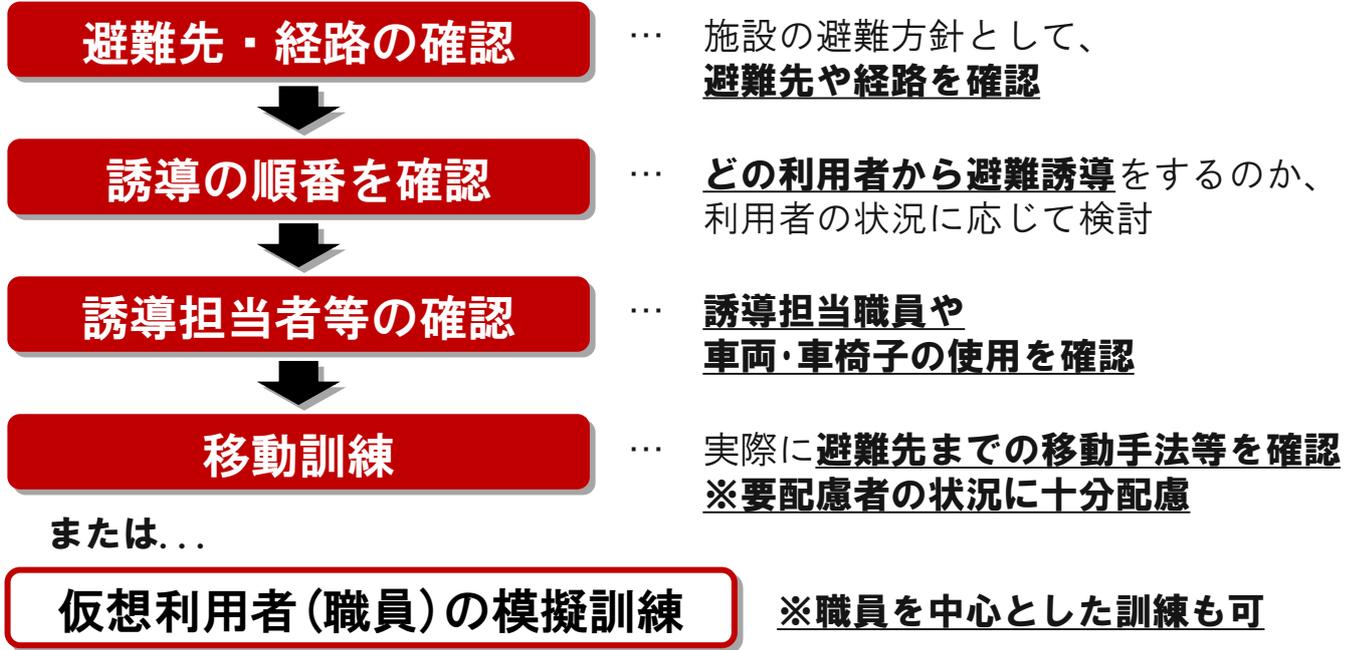


### (2) 訓練の準備

- 様式のチェックリストを参考に、訓練当日に必要な備品等を確認し、念のため前日などに、不備がないか確認しておきましょう

### (3) 訓練の実施

- 左ページで検討した訓練計画書に基づいて、訓練を実施します  
下記の流れをイメージして取り組んでみてください



### (4) 訓練結果の確認

- 訓練が終わりましたら、様式のチェックリストに基づき、訓練結果の確認をします

・ 各検証事項について、**「問題なし」または「課題あり」を判断し記入**しましょう

・ **訓練時に感じたことを、「(所感)欄」に記入**しましょう

- 「課題あり」と判断される項目は、**計画の見直しや訓練での再確認**が求められます  
施設で**今後の方針を確認・検討し、記入**しておきましょう

**訓練結果が確認できたら、訓練報告書を作成しましょう( →20ページ)**

**ステップ 5**

#### 訓練様式 2-C

(訓練様式 2-C)

**②避難誘導訓練 (C:実践型)**

訓練検証チェックリスト

訓練実施日時	年 月 日 時 分 ~ 時 分
① 施設外・施設内避難場所について、避難時間も考慮された適切な場所を選定できていましたか。(所感)	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 課題あり
② 避難経路の設定について、避難時に障害となりそうなものはありませんでしたか。(例：狭い道幅、急な坂、積み荷等)(所感)	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 課題あり
③ 施設利用者の誘導の順番や担当者・移動手段について、スムーズに検討を進めることができましたか。(所感)	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 課題あり
④ 一人で移動するのが困難な利用者の避難支援について、危険を感じることなく進めることができましたか。(所感)	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 課題あり
⑤ 避難(待避)後の対応について、備蓄・携行品の状況や家族等への引き渡し等のルールは現段階で確保されていますか。(所感)	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 課題あり
(その他)	

## ②避難誘導訓練 〈D:災害図上訓練(DIG)型〉

### (1) 訓練計画の立案

- **訓練実施日時、訓練場所、参加者**を検討し、該当箇所を記入します
- 避難判断前の準備や避難判断については、訓練フェーズ①「情報収集・伝達、防災体制確認訓練」で実施される内容ですので、概ねの時間を記載しておきます
- **模擬訓練の実施有無を確認**します
- 災害図上訓練だけでなく、模擬訓練を実施する場合には、車両や車椅子などの準備が必要です
- 施設外避難（水平避難）か、施設内待避（垂直避難）かを検討しておき、**避難場所及び避難経路を整理**しておきます

### 訓練様式 1-D

②避難誘導訓練〈D:災害図上訓練(DIG)型〉 (訓練様式1-D)

訓練計画書

訓練実施日時	年 月 日 時 分 ~ 時 分
訓練場所	<input type="checkbox"/> 施設全体 <input type="checkbox"/> 施設の一部 ( ) <input type="checkbox"/> 施設外避難場所 ( ) <input type="checkbox"/> そのほか ( )
参加者(人数)	<input type="checkbox"/> 施設職員 ( 名) <input type="checkbox"/> 施設利用者 ( 名) <input type="checkbox"/> そのほか ( )

(1) 訓練シナリオ

時 分	避難誘導担当の配備や 移動手段(車両や車椅子等)の準備(※模擬訓練実施の場合)
時 分	避難誘導の体制を整える
時 分	避難(待避)判断 → 災害図上訓練開始 ※判断の際には基準を確認
時 分	施設上で、利用者の避難玉座を指定を確認
時 分	模擬訓練の実施 ※職員等が利用者役になり避難を体験
時 分	施設外へ避難玉座を指定を確認
時 分	避難完了

(2) 準備

訓練で使用する備品等は下記のとおりとし、訓練前日に確認をおこなう

訓練関係資料	<input type="checkbox"/> 避難確保計画 <input type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域などの拡大印刷物 <input type="checkbox"/> 訓練計画書(本資料) <input type="checkbox"/> 訓練結果チェックリスト <input type="checkbox"/> そのほか ( )
災害図上訓練時 必要備品	※地図上で避難場所までの経路や担当者等を確認 <input type="checkbox"/> 施設内・施設周辺の地図(可能な範囲で拡大印刷) <input type="checkbox"/> ペン <input type="checkbox"/> 利用者や担当者に見立てる駒(マグネット等) <input type="checkbox"/> そのほか ( )
模擬訓練時 必要備品	※実際に避難場所までの避難方法を確認 <input type="checkbox"/> 避難誘導車両 <input type="checkbox"/> 車椅子 <input type="checkbox"/> ストレッチャー <input type="checkbox"/> そのほか ( )
その他	( )

▼群馬県手引き別冊「様式4-1」、「様式4-2」

(様式4-1)

施設外避難

避難ルートと留意点 【主催者: 避難誘導班】  
施設外避難時のルートと避難の際の留意点を下図(または別紙)に示す。  
年 月 日作成

名 称: ○○中学校  
住 居: ○○市○○町 9999  
施設情報 電話番号: 9999-99-9999  
担 当 者: ○○ ○○

(様式4-2)

施設内待避

待避ルートと留意点 【主催者: 避難誘導班】  
待避内待避時のルートと待避の際の留意点を下図(または別紙)に示す。  
年 月 日作成

校 舎 内 3階 視聴覚室、多目的室  
待避場所

### (2) 訓練の準備

- 様式のチェックリストを参考に、訓練当日に必要な備品等を確認し、念のため前日などに、不備がないか確認しておきましょう

### (3) 訓練の実施

- 左ページで検討した訓練計画書に基づいて、訓練を実施します  
下記の流れをイメージして取り組んでみてください

**避難先・経路の確認**

… 施設の避難方針として、**避難先や経路を確認**

**誘導の順番を確認**

… **どの利用者から避難誘導**をするのか、  
利用者の状況に応じて検討

**誘導担当者等の確認**

… **誘導担当職員や  
車両・車椅子の使用を確認**

**図上で移動訓練**

… 図上で駒などを移動し、  
**避難イメージを確認**

**仮想利用者(職員)の模擬訓練**



### (4) 訓練結果の確認

- 訓練が終わりましたら、  
様式のチェックリストに基づき、  
訓練結果の確認をします

**訓練様式 2-D**

- ・ 各検証事項について、  
**「問題なし」または「課題あり」を  
判断し記入**しましょう
- ・ **訓練時に感じたことを、  
「(所感)欄」に記入**しましょう

- 「課題あり」と判断される項目は、  
**計画の見直しや訓練での再確認**が  
求められます  
施設で**今後の方針を確認・検討し、  
記入**しておきましょう

**訓練結果が確認できたら、  
訓練報告書を作成しましょう( →20ページ)**

**ステップ 5**

(訓練様式 2-D)

**②避難誘導訓練 (D:災害図上訓練(DIG)型)**

訓練検証チェックリスト

訓練実施日時	年 月 日 時 分 ~ 時 分
① 施設外・施設内避難場所について、 避難時間も考慮された適切な場所を選定できていましたか。 (所感)	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 課題あり
② 避難経路の設定について、避難時に障害となりそうなものは ありませんでしたか。(例：狭い道幅、急な坂、積み荷等) (所感)	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 課題あり
③ 施設利用者の誘導の順番や担当者・移動手段について、 スムーズに検討を進めることができましたか。 (所感)	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 課題あり
④ 一人で移動するのが困難な利用者の避難支援について、 危険を感じることなく進めることができましたか。 (所感)	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 課題あり
⑤ 避難(待避)後の対応について、備蓄・携行品の状況や家族等 への引き渡し等のルールは現段階で確保されていますか。 (所感)	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 課題あり
(そのほか)	

## 「訓練報告書」を作成しましょう！

- 避難訓練が終わりましたら、訓練様式3等を活用し、**「訓練報告書」を作成**してください。  
作成した「訓練報告書」は、**市町村の防災部署等に提出**してください。
- **「訓練計画書」や「検証チェックリスト」も合わせて提出**すると、市町村も訓練の内容を詳しく確認できますので、可能な範囲で提出してください。



## 避難確保計画に基づいて、毎年避難訓練を実施しましょう！

- 避難訓練は、計画どおりに動けるかを確認することのほか、検証による計画の更新に繋げることも重要な観点です。職員や利用者の増減や体制の変化に合わせて、**計画を見直す機会を作るためにも、毎年1回は、訓練で確認**してください。
- 利用者の円滑な移動のためのノウハウ習得や発展的な訓練内容の検討については、市町村や消防、学識経験者、群馬県等の専門家の力を借りることも必要かと考えます。**積極的に相談し、より良い訓練を計画・実践**してください。



本書の様式はあくまでも参考ですので、  
市町村の所定の様式がある場合には、市町村の様式で報告書を作成しましょう

**訓練様式**

**3**

(訓練様式 3)

要配慮者利用施設の土砂災害に関する避難訓練 【訓練報告書】

年 月 日

様

▼報告者（施設情報）

▲施設所在地の  
市町村長

報告者（施設名称）：  
住所：  
代表者氏名： 印  
電話番号：

下記のとおり、土砂災害防止法第8条の2第5項に基づく訓練を実施しましたので報告します。訓練内容等の詳細は、別添（計画書等）のとおりです。

▼施設情報

施設の名称	
施設の所在地	

◀ 訓練内容  
（訓練計画）

訓練実施日時	年 月 日 時 分 ~ 時 分
訓練場所	<input type="checkbox"/> 施設全体 <input type="checkbox"/> 施設の一部（ ） <input type="checkbox"/> 施設外避難場所（ ） <input type="checkbox"/> そのほか（ ）
参加者（人数）	<input type="checkbox"/> 施設職員（ 名） <input type="checkbox"/> 施設利用者（ 名） <input type="checkbox"/> そのほか（ ）
訓練内容	<input type="checkbox"/> 情報収集・伝達、防災体制確認 < <input type="checkbox"/> A：シナリオ固定型 / <input type="checkbox"/> B：情報付与型 > <input type="checkbox"/> 避難誘導 < <input type="checkbox"/> C：実践型 / <input type="checkbox"/> D：災害図上訓練(DIG)型 > ※上記 A～D は、群馬県避難訓練実践の手引きに基づく <input type="checkbox"/> そのほか（ ）
訓練の振り返り（所感）	※チェックリストを添付する場合は記載不要

担当者氏名	
連絡先（電話）	

▲担当者（連絡窓口等）情報

要配慮者利用施設における土砂災害に関する避難訓練 〈実践の手引き〉  
令和元年9月 作成・公表（令和3年6月更新）

製作：群馬県県土整備部 砂防課

監修：片田 敏孝

（東京大学大学院情報学環 特任教授）

（群馬大学 名誉教授）

協力：株式会社 アイ・ディー・エー 社会技術研究所